

# 青少協だより

2009年9月

田迎校区  
青少年健全育成協議会  
発行

本年度4月、田迎小学校に着任された馬場校長先生に寄稿いただきました。  
「田迎小 再び」



熊本市立田迎小学校長 馬場 正文

私は、平成15年度から平成17年度まで、田迎小学校の教頭として勤めておりました。そして、本年度から、校長として再び田迎小学校に赴任しました。4月当初、自転車で地域を回っていますと、「教頭先生!」と声をかけられ、覚えていてくださったことに、本当に感謝いたしました。

3年ぶりに校区を回ってみると、新しい家が建っていたり、知らない道ができていたり、田迎校区の変化に驚かされます。特に、車の通行に関しましては、教頭のときと若干違っているような気がします。

さて、5・6年生の子どもたちや保護者の方、地域の方を知っている学校に、新米校長として赴任できた私は、ラッキーであり幸せ者です。あるお子さんは、「先生、田迎でよかつたろう!」と会話の中でたずねてきました。私は、「とてもうれしいよ!」と答えましたが、後から、「あなたたちとまた会えて、とてもうれしいよ!」と気の利いた答えができなかつたのかと悔やみました。子どもたちと接する大人が、子どもたちと一緒にいることが楽しい、幸せであると感じ、そのことを子どもたちに伝えていかなければいけないと思います。なぜならば、子どもたちは、そういう大人にこそ、安心感を抱きますし、幸せを感じるからです。

田迎校区は、地域がとてもあたたかいところです。地域の会合に参加したときにも、決して、安きに流れることなく、子どもたちのためによい方向で話し合いがもたれています。田迎の地域の皆さんと接することで、子どもたちはたくさんの幸せを感じるのではないか。ですが、田迎校区の取り組みが、ますます盛んになり、充実していくことを心より願っております。そして、田迎小学校はお世話をになりながら、そして、できる限り協力していきたいと考えております。

## 怖いお化け屋敷

民生児童委員代表

山下 和美

去る5月29日、幸田夏祭り拡大実行委員会が開催され、いよいよ夏祭りの準備に入りました。

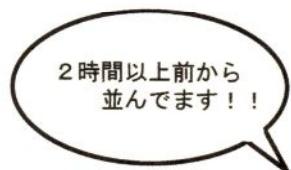
今年は田迎校区の当番で、民生児童委員はお化け屋敷の担当。西田自治協議会長、下川青少協会長の活気あるご挨拶もあり、皆でお化け屋敷を成功させるぞとの意気込みで協力しました。

夏休みに入った当日、7月18日に幸田夏祭りを開催。お化け屋敷のセットに使用する竹の切り出しやお化け屋敷の設営まで、早朝6時より親父会の応援も頂いたこともあり、スムーズに行うことが出来ました。夏祭りの開店は夕方6時半からにも関わらず、夕方4時を回る頃には子ども達はお化け屋敷に並んでいました。

お化け屋敷の開店直前、私にもお化け屋敷に入つて下さいとの事で中に入りました。真っ暗の中に異様な光があり、マネキンの顔が吊るしてあつたり、覆面を被つたお化けが音声モーリアルに登場したり。私も思わず、「出口はどこ。出して下さい。」と年甲斐もなく悲鳴を上げてしまいました。

開店と同時に子ども達は口々に「怖い」とか「お化けは本物なの」など聞いてきます。子ども5人一組で入場しましたが、悲鳴の連発!怖いと言ひながらも、6回も入場する女子もあり、逞しいなど感じました。

子ども達も喜んでくれ、お化け屋敷は大盛況。入場数は1700人を数え、幸田夏祭りはお化け屋敷があるから、多くの子ども達が集まつくると言つても過言ではないでしょう。又、来年も子ども達がお洒落な浴衣姿で集まつて欲しいと願っています。



祭